

自民市政会

永渕 ふみたか通信

サガを！リアルに！ツナグ



2月定例議会での一般質問

質問

市報さがの掲載写真について 佐賀市に問う！

永渕 市報さがに使われている写真。よく見ると風景写真や建物写真や造形物の写真などが大変多い気が致します。特に、表紙の写真が、その傾向が強いように感じるのですが、市報さがの写真、どのようなお考えの元に採用を決め

ていらっしゃるのか？私が気になるのは表紙の写真の中心にお聞かせ願いたく思います。
総務部長 現在市報さがは、毎月2回1日号と15日号をそれぞれ十万三千部発行して市内の全所帯及び事業者等に配布しております。そこで使用される写真につきましては、季節に応じて、例えば、榮の国まつり、バルーンフェスタ、佐賀城下ひな祭りなどイベントの写真を掲載し、イベントを周知することで、少しでも多くの方にご来場いただけますように、地域の一体感の醸成に繋がることを期待して採用しています。また有明海潮干狩りや筑後川昇

開橋での観光遊覧船、川上峡でのこいのぼり、古湯温泉での朝市、金立公園のコスモス祭りなど合併した地域の自然なども写真等で紹介し、佐賀市の宝を市民の皆さんに紹介していきたいと考えています。
永渕 ご説明ありがとうございます。説明を理解した上で申しますが、やはり写真のことですが、やはり写真のうと躍動感に乏しく、身近に感じない気が私は致します。
私は市報さがの誌面の写真、またその表紙の写真においても、佐賀市民の顔が見える写真に掲載する必要があるのではないかと思うのですが、佐賀市のお考えをお示し下さい。
総務部長 ご指摘のように市報ですから読んでいただけるという視点が大切ですね、指摘のような写真を載せるという風に思います。変化をつけるということもありますし、季節感ということもありますけれども、ご指摘のような所も（佐賀市民の顔が見える写真を掲載すること）我々としても当然市民の皆様に関心をもっていたいただけるための手法の一つだと思えますので、そのようなことも是非検討していきたいと考えているところでございます。

永渕 ハイ、期待しております。

私は市報さがのことを今回一般質問で取り上げているのは、これからの自治体広報誌というものは、イベント及び啓発記事などを掲載して市民の周知を図るのみの目的だけでなく、市民の方が常に関心を持って読む市報を目指すべきではないかと考えているからです。

では、どうするべきか？

市民の方が常に関心を持って読む市報を目指すために、まずは、市報を読んでみようという気持ちにさせる取り組みが必要です。

ハイ、そこで、今日はこのようなポスターを準備致しました。



市報さが 4月号 市報さが 3月号
市報さがの4月号から、誌面に市民の笑顔が増えました。

(別の自治体で採用されている週刊誌の中吊り広告風にアレンジされた市報のポスターを議場で見せる)

このポスターを制作した自治体に問い合わせたところ、庁舎の中や、庁舎のエレベーターの中、また市内の循環バスに掲示していらっしゃるそうです。このように市報の内容を簡易書きにすることで、その月に佐賀市が伝えたいことが明確に市民の方に伝わると私は思います。

また、各所でポスターを見ることで、市民の方に、市報を読んでみようという気持ちにさせることが出来るのではないかと気が私はするのですが、このような市報の内容のポスターを紹介する広告を作成してみたいかがでしようか？佐賀市の見解をお聞かせ下さい。

総務部長 毎月1日号と15日号と10万部 毎年、月にしますと20万部以上も発行しているわけですから、これがキチツと市民の皆様には伝わるような手段として、いま議員ご提案のようなこういったPRという形もやはり必要じゃないかというふうには感じておりますし、また、先ほどの写真の問題につきましても、やはり人が写っていると身近に感じるといっても確かにある

と思いますので、いまのお示しになった事例のように色々な自治体で色々な取り組みがされているというふうには聞いておりますので、議員ご提案のような市報さの中身についても、我々もこれから、しっかりと取り組んでいきたいと、考えている次第です。



4月から採用された市報のポスター

永淵 読んでみようと思う誌面作りをすることは、本当に誌面を作る上で大事なポイントですよ。行政広報の研究文献を読んでいますと、市報を作る上で3つのポイントが書かれていました。

- ① 一方的な伝達をする「お知らせ型」広報になっていないか？のチェック
- ② 各所管課が広報をつかって具体的にどう事業をPRしていくかということを広報担当課にしっかりと伝えているか？のチェック
- ③ それを聞いた広報担当の職員もそれを反映させた広報作りがしっかりと出来ているか？

のチェックこの3つが書かれていました。

この3つのポイントを今後職員同士が細かくチェックして、佐賀市民の方が常に関心を持って読んでくれる市報さが今後目指していきたいと思っています。では、最後にここまでお話ししたところで、今後市報さがかどのような誌面作りを目指すのか？お聞かせ下さい。

総務部長 指摘の1点目のように、どちらかというところでは行政からのお知らせというところになっていないかというふうに感じています。そのため、皆様

が知りたい情報、そういった情報を載せて、少しは読みもの風を作っていくところも必要ではないのかというふうにご考えてるところでございますし、今現在、佐賀市におきましては地域コミュニティ政策を展開しておりますので、そういった各地での取り組みを掲載することによってこの地域コミュニティの取り組みにますます関心をもってもらいたく、そして参加していただく誌面づくりに是非取り組んでいきたいと、このように考えているところでございます。

永淵 分かりました。今後の市報さがに期待しております。
 〆終



4月6日 桜マラソンにてボランティア活動



3月9日 ユニセフと被災地支援活動



地域の交通安全運動 春から始めました

地域活動



4月9日 デンマークの人々と国際交流

編集後記

皆様、今回初めて議会レポートを作りました。いかがでしたでしょうか？これから、社会に足りないものに行政が気づいていないときは、ちゃんと行政に対して佐賀市民の代表として発言をしていくことができるそんな議員になるよう努力していく所存ですので、これからもご指導、ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。



お気軽にご相談ください！

佐賀市市議会議員
自民市政会
永 淵 史 孝

〒849-0928
佐賀県佐賀市若楠3丁目3-23
Tel.0952-38-2323 FAX0952-33-5176
<http://www.nagafuchi-fumitaka.com>

<https://twitter.com/fumitafumita>

<https://www.facebook.com/nagafuchifumitaka>

<http://www.youtube.com/user/fumitafumita>